

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10

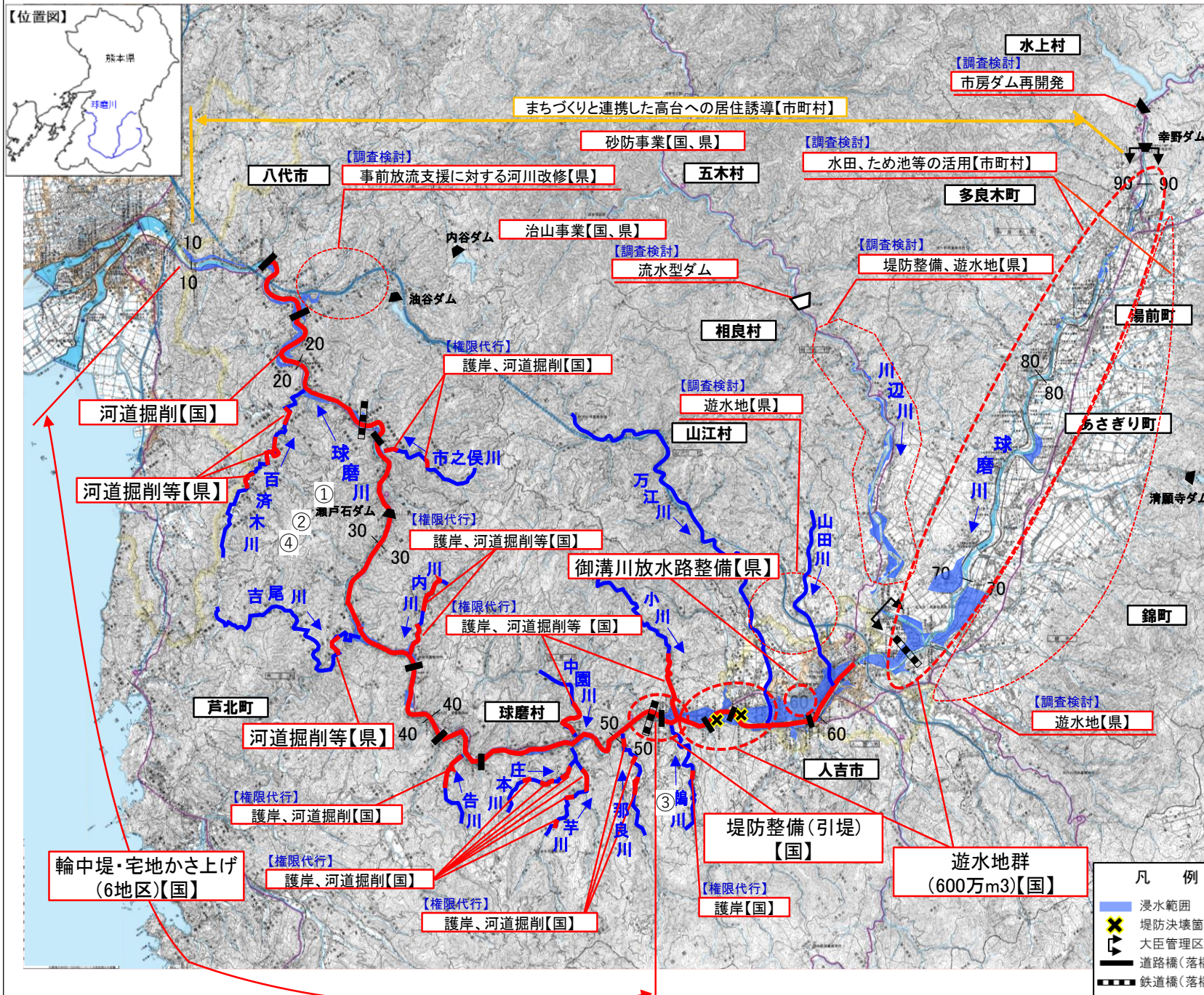


球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所で、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

- 令和3年出水期までに、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施。



【ハード対策の進捗状況】 令和4年1月末時点

- ①河道掘削
令和3年出水期まで：約70万m³掘削完了
令和3年出水期以降：約54万m³掘削完了、引き続き推進を図る

- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査中

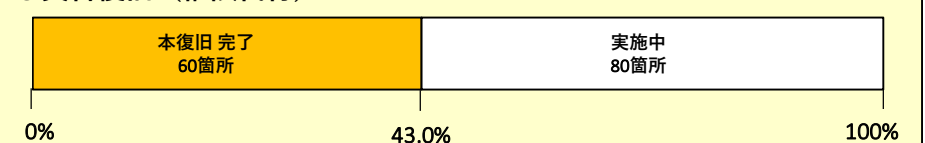
- ③引堤（延長約600m）
地元協議中、用地測量実施中

- ④遊水地（調節容量約600万m³）
地元協議中、用地測量実施中、地質調査中

- 災害復旧（堤防決壊を含む）



- 災害復旧（権限代行）



施工状況（八代市）



護岸復旧完了（球磨村）



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて
八代河川国道事務所HPで進捗状況を公表中▶



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



護岸等の災害復旧状況について

- 護岸等の被災箇所のうち、緊急性の高い20箇所の被災箇所については本復旧が概ね完了。
- 残りの箇所（高水敷の被災等）については応急復旧を完了し、令和3年度中に全31箇所の本復旧完了を目指す。

【位置図】



【被災状況】



【復旧作業状況】



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



護岸被災等の復旧について（権限代行区間）

- 権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万m³の土砂掘削を完了。
- 護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所全箇所に着手し、令和3年度中の本復旧完成を目指す。

位置図



【施工前状況】



【施工後状況】



【施工状況】



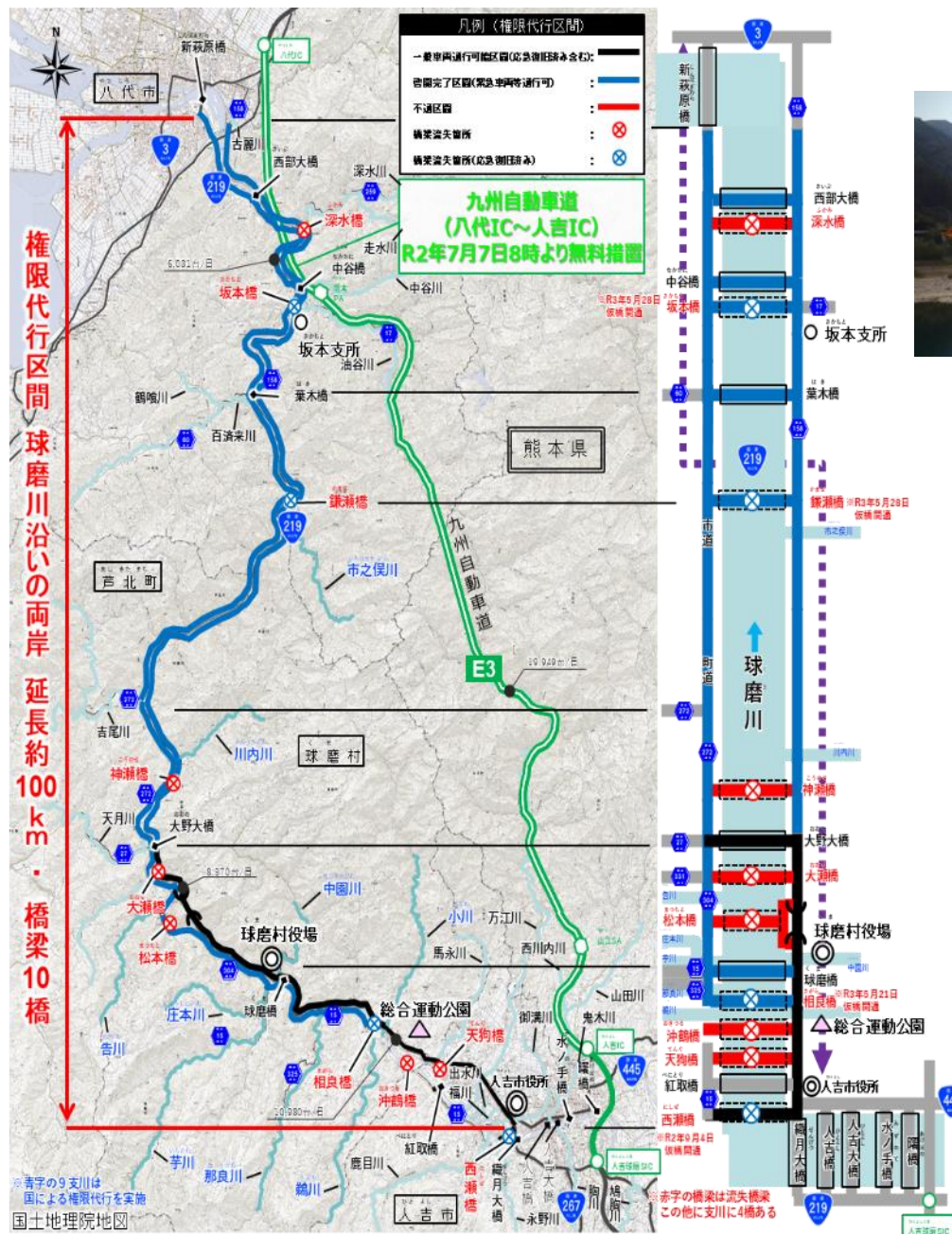
球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



第4回球磨川橋梁復旧技術検討会について

- 令和2年7月豪雨により流失した球磨川に架かる橋梁の早期本復旧に向け、球磨川橋梁復旧技術検討会を開催。
第1回検討会（R3.6.24）では、橋梁が流失した仕組み（被災原因）や復旧コンセプト等の検討を実施。
また、第2回検討会（R3.7.30）及び第3回検討会（R3.9.15）では、橋梁の復旧位置を決定した。
- 令和3年12月16日に第4回検討会を開催し、相良橋を除く各橋（深水橋、坂本橋、鎌瀬橋、神瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋）の橋梁形式、天狗橋や西瀬橋の復旧方針について了承された。

【球磨川に架かる橋梁イメージ】



深水橋【鋼単純アーチ橋】



坂本橋【鋼2径間連続トラス橋】



鎌瀬橋【鋼単純アーチ橋】



神瀬橋【鋼単純アーチ橋】



大瀬橋【鋼2径間連続鋼床版箱桁橋】



松本橋【鋼2径間連続鋼床版箱桁橋】



沖鶴橋【鋼2径間連続鋼床版箱桁橋】

※写真はイメージであり、完成後と一部形状が異なる場合があります。
また、色彩等の詳細については、今後、関係者の意見等を踏まえながら決定していくこととしております。

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



河道掘削の進捗状況について

- 出水期前までに予定していた約70万 m^3 の掘削が令和3年5月末までに完了。
- 引き続き、球磨川河道内の掘削を行っており、令和4年1月末現在約54万 m^3 を撤去。

③



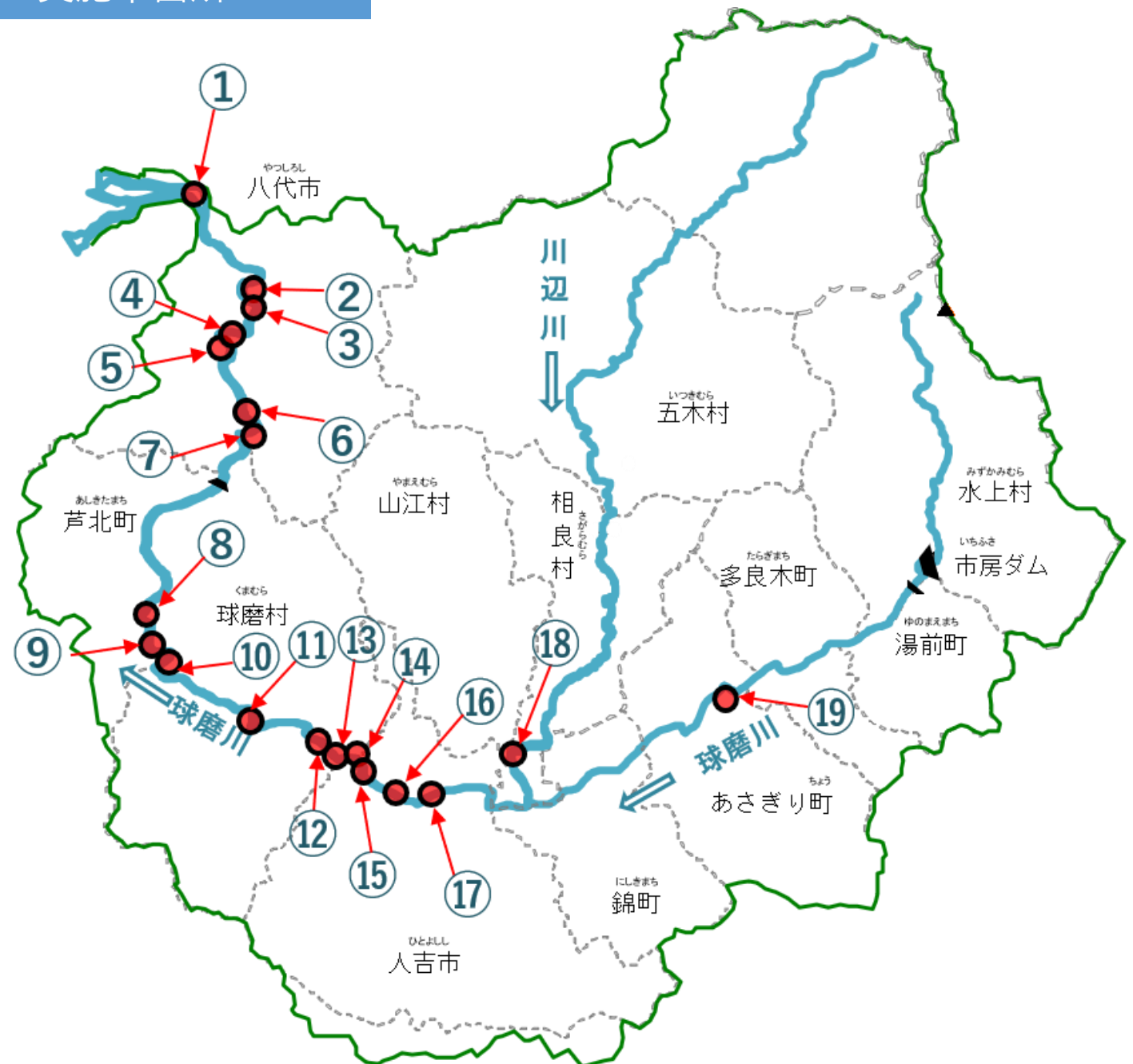
⑧



⑭



令和4年1月末時点
実施中箇所

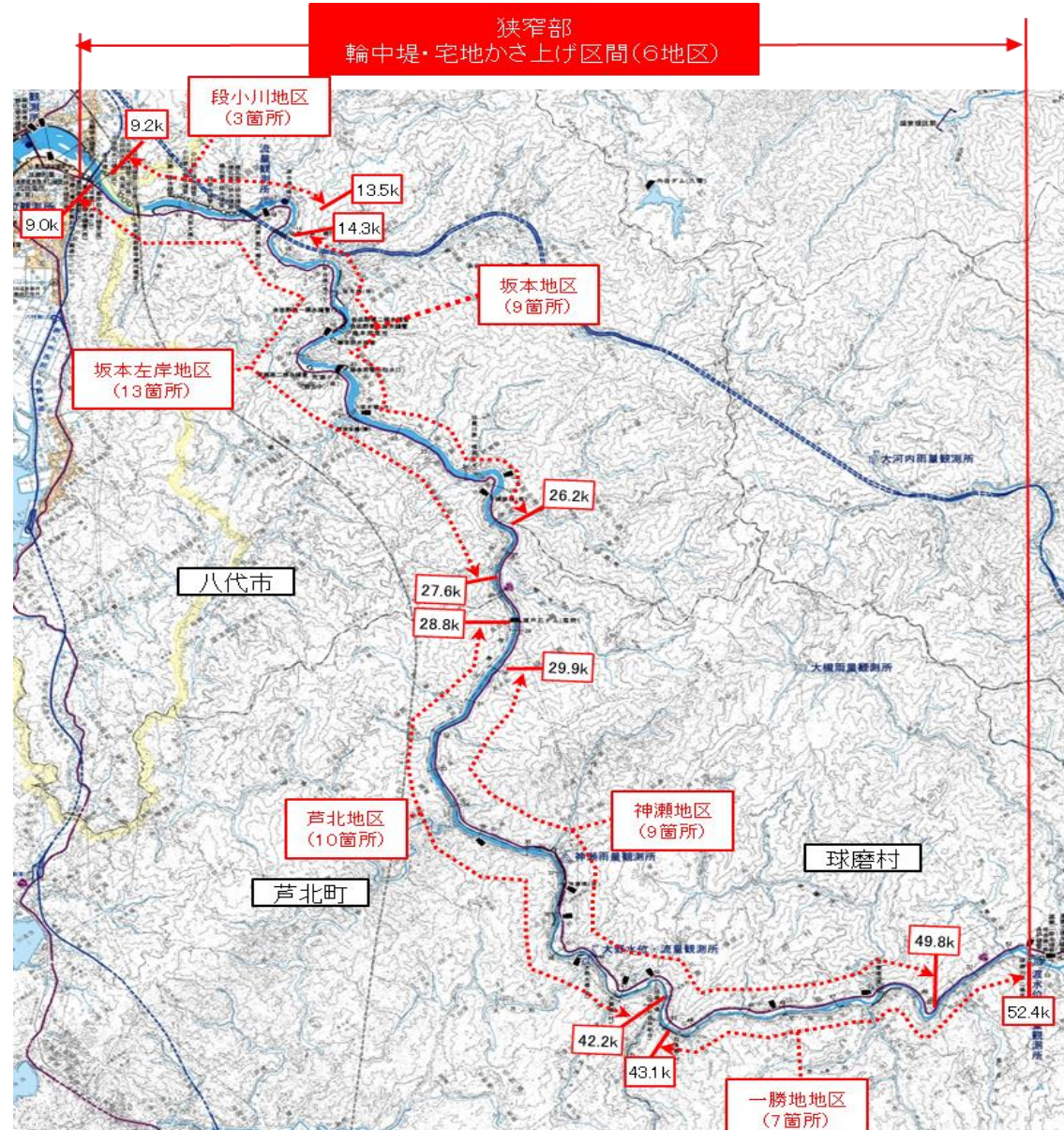


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況について

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年3月から順次開催（3市町村 計33回開催 ※1月末時点）。
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（測量等）を行い、現在、測量等を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



令和3年12月～令和4年1月の説明会等実施状況



八代市坂本町
(中谷・大門地区)
個別説明会 (R3.12.19)



八代市坂本町
(原女木地区)
個別説明会 (R3.12.20)



八代市坂本町(藤本地区)
懇談会 (R3.12.26)



八代市坂本町(中津道地区)
懇談会 (R3.12.26)



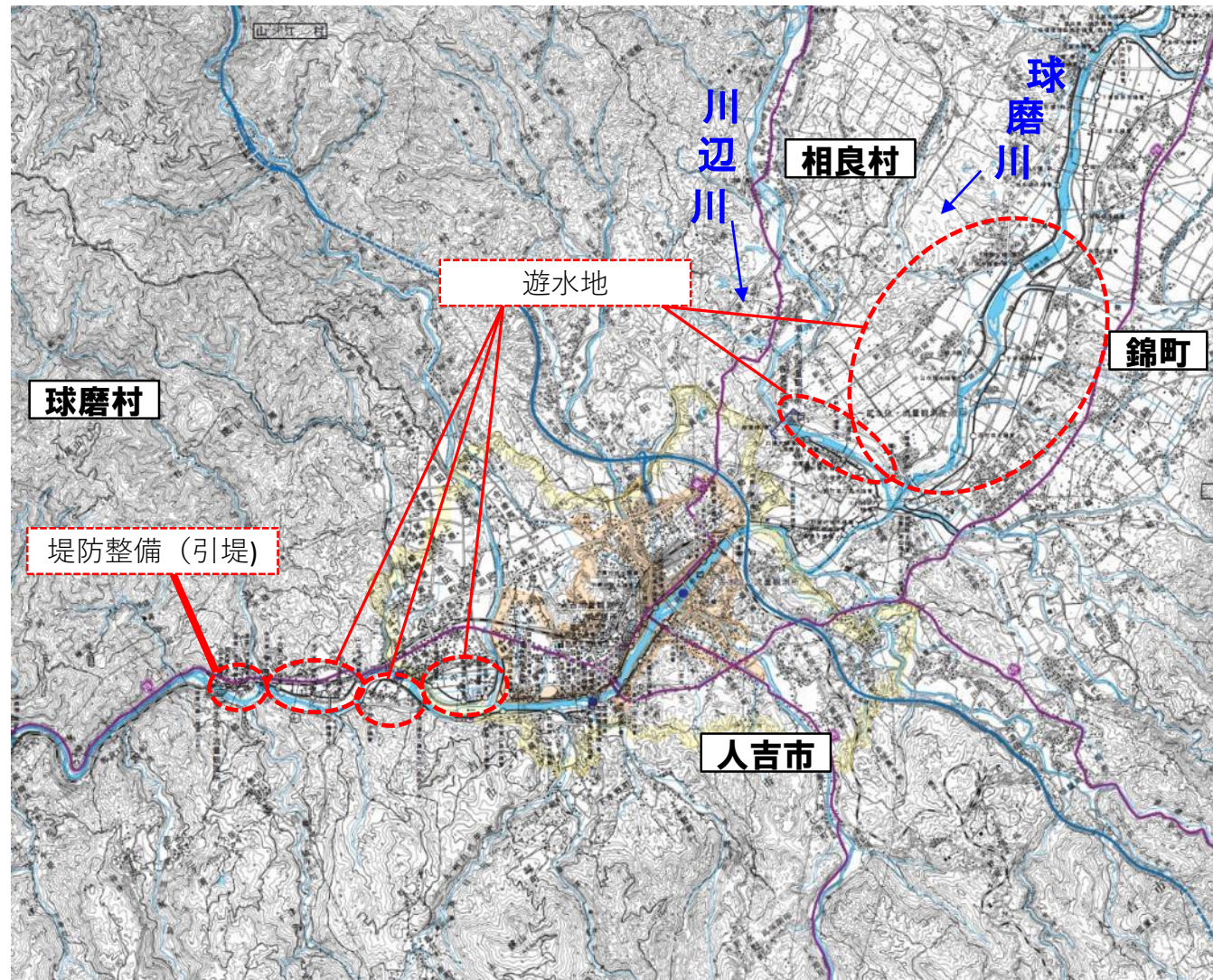
※地図上の範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤・遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催。
(4市町村 計24回開催 ※1月末時点)
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査(測量等)を行い、現在、用地測量、地質調査を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



令和4年1月の説明会等実施状況



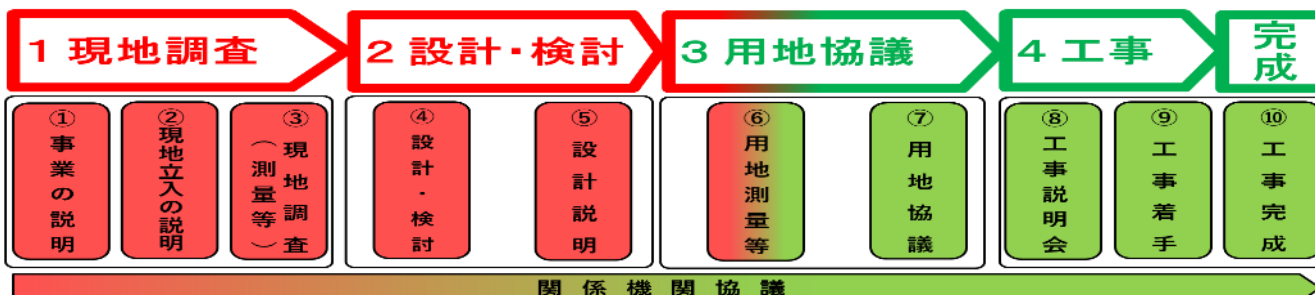
錦町事業説明会 (R4.1.28)



地質調査の状況 (錦町)



用地測量の状況 (相良村)



※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.10



洪水標識の設置について

- 令和2年7月豪雨時の浸水深を示す「洪水標識」を生活空間である「まちなか」に表示することで、日頃から水防災への意識を高め、次世代に伝える記録として残しつつ、洪水時に命を守るための住民の避難行動の目安とすることで、被害を最小限にとどめることを目的に設置。今後も、順次被災箇所を設置を予定。

人吉市紺屋町・九日町と協働で設置
(R3.3.23)



洪水標識看板



九日町町内会長

人吉市

八代市坂本町松崎地区と協働で設置
(R3.9.29)



洪水標識看板



八代市

松崎地区代表

人吉市温泉町と協働で設置
(R3.10.29)



洪水標識看板



人吉市

温泉町町内会長

球磨村渡地区と協働で設置
(R4.1.24)



洪水標識看板



渡地区会長

球磨村

球磨村一勝地地区と協働で設置
(R4.1.24)



洪水標識看板



一勝地地区代表

球磨村

球磨村神瀬地区と協働で設置
(R4.1.24)



洪水標識看板



球磨村

神瀬地区代表